

第14期末（2019年8月13日）

基準価額 9,930円

純資産総額 511百万円

第13期～第14期
（2019年2月13日～2019年8月13日）

騰落率 0.2%

分配金合計 0円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ニッセイ米国株 テーマローテーション ファンド（3ヵ月決算型）

【愛称】 さきよみ

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

作成対象期間：2019年2月13日～2019年8月13日

第13期（決算日 2019年5月13日）

第14期（決算日 2019年8月13日）

受益者の皆様へ


平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ米国株テーマローテーションファンド（3ヵ月決算型）」は、このたび第14期の決算を行いました。

当ファンドは、「TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド」への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**（コールセンター）

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAI
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書（全体版）

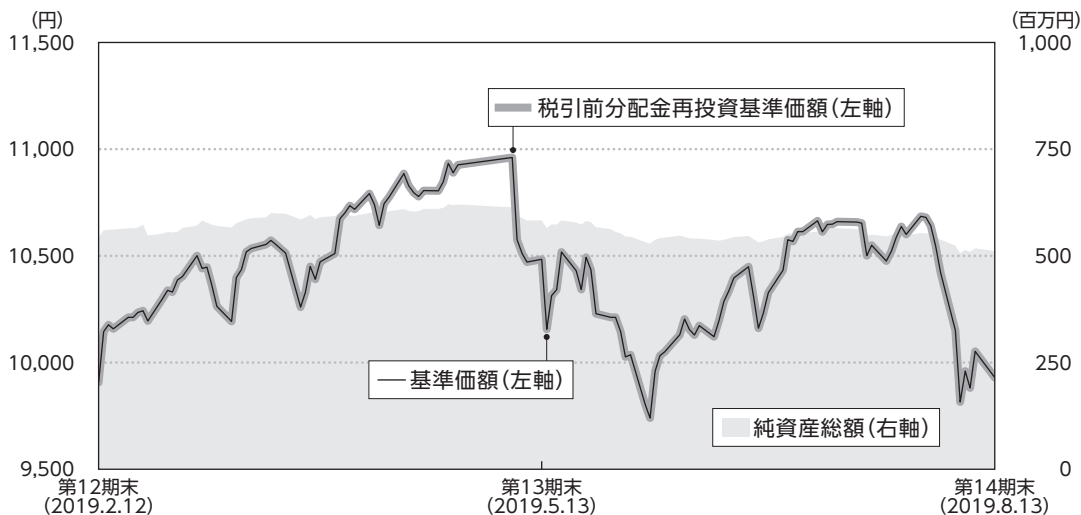
UD FONT

ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

2019年2月13日～2019年8月13日

基準価額等の推移



第13期首	9,907円	既払分配金	0円
第14期末	9,930円	騰落率（分配金再投資ベース）	0.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

当作成期前半は米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ見送り観測の高まりや米中貿易協議進展への期待感などから株価が上昇し、基準価額も上昇しました。

当作成期半ばは米国が対中関税引き上げを表明し米中貿易協議の先行きに対する警戒感が増したことなどをを受けて株式市場等が下落し、基準価額も大きく下落しましたが、その後はFRBによる早期利下げ観測が広がったことなどから上昇に転じました。

当作成期末にかけては米中貿易摩擦の激化懸念の高まりから株価が下落し米ドル安円高も進行したことなどから、基準価額は再び大幅に下落しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第13期～第14期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	69円	0.659%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,428円です。
(投信会社)	(22)	(0.215)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(45)	(0.430)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	69	0.664	

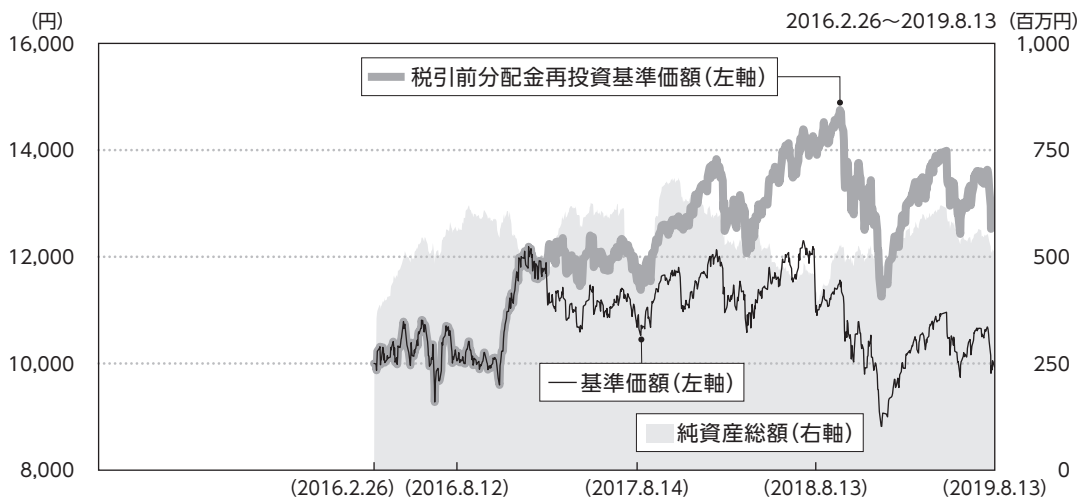
(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2016年2月26日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2016年 2月26日	2016年 8月12日	2017年 8月14日	2018年 8月13日	2019年 8月13日
基準価額（分配落）	(円)	10,000	10,046	10,677	11,001	9,930
期間分配金合計（税引前）	(円)	－	0	900	1,900	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	－	0.5	14.9	21.6	△9.7
参考指数騰落率	(%)	－	2.6	22.6	20.7	△2.5
純資産総額	(百万円)	245	559	482	415	511

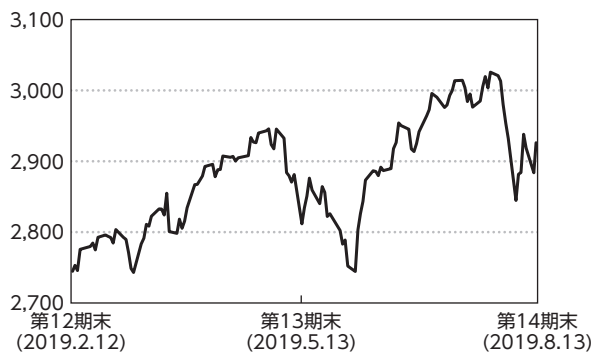
(注1) 参考指数はラッセル3000インデックス（配当込み、円ベース）です。なお参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

投資環境

■ 米国株式市況

【S&P500株価指数の推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

米国株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。

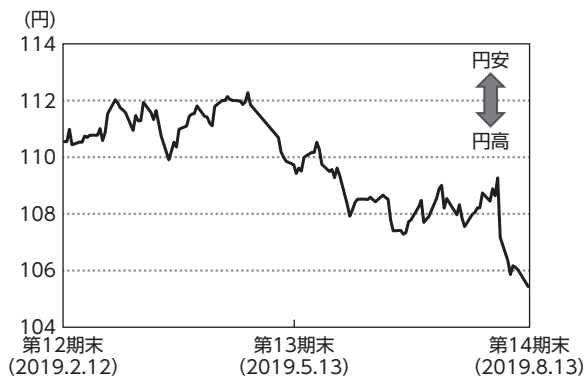
当作成期前半はF R Bによる利上げ見送り観測の高まりや米中貿易協議進展への期待感などから、株価は堅調に推移しました。

当作成期半ばは米国が対中関税引き上げを表明し米中貿易協議の先行きに対する警戒感が増したことから株価は下落しましたが、その後はF R Bによる早期利下げ観測が広がったことなどから再び上昇しました。

当作成期末にかけては米中貿易摩擦の激化懸念の高まりから、株価は大きく下落しました。

■ 為替市況

【米ドル／円レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

為替市場は米ドル安円高となりました。

当作成期前半はボックス圏で推移しましたが、当作成期半ばは株式市場の下落を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことやF R Bによる早期利下げ観測が広がったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。

当作成期末には米中貿易摩擦の激化懸念の高まりから、さらに米ドル売り・円買いが優勢となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

外国投資信託証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■TCWファンズII－TCWテーマローテーション株式ファンド

*TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地における当作成期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

徹底した調査・分析に基づき、短期（6ヵ月～1年程度）、中期（1年～3年程度）、長期（3年以上）と時間軸の異なる複数の投資テーマを選定し、各投資テーマに関連する企業の中からボトムアップ・アプローチで組入銘柄を厳選しました。

当作成期末時点での業種配分は、組入比率の高い順に、情報技術（17.4%）、ヘルスケア（13.3%）、一般消費財・サービス（13.0%）としています。

（注）業種はGICS分類（セクター）によるもので、比率は対組入株式等評価額比です。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

時間軸および投資テーマ別の組入比率は以下の通りです。

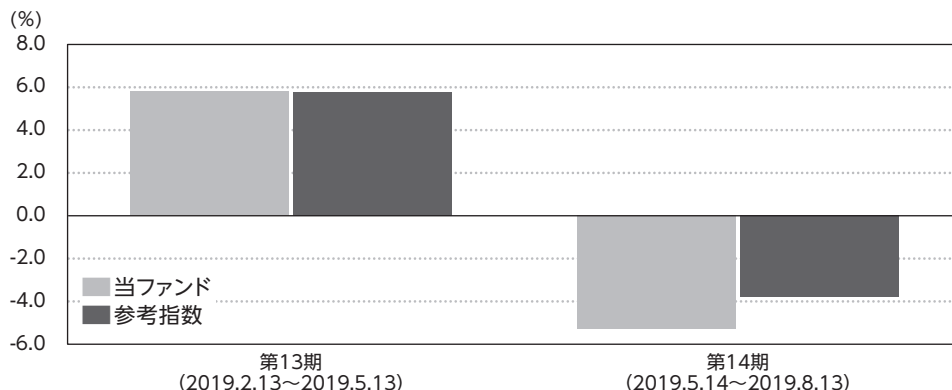
時間軸	投資テーマ	比率	注目点
短期	鉄道	12.6%	米国の景気拡大が続いており、物流が活発化してきています。中でも特に鉄道輸送の重要が高まっており、恩恵を受けると考えられる鉄道会社に着目します。
	ボラティリティ	11.2%	市場の高いボラティリティ（変動）により恩恵を受けると考えられる金融機関に着目します。
	国際海事機関による船舶燃料規制（IMO 2020）	10.0%	船舶燃料に対する国際的な環境規制が、2020年1月から導入されます。これにより恩恵を受ける石油精製会社に注目します。
	インカム	8.3%	公益企業のような安定したインカム収入を生む企業に投資を行います。
	アパレル企業のリバウンド	6.0%	アパレル企業の売上がリバウンドすると予想しており、株価の反発が期待できる企業に投資を行います。
中期	AI革命	25.1%	AI革命から恩恵を受ける企業に着目します。
	E-Commerce向け倉庫	9.0%	E-Commerce向けの流通センターを保有する不動産関連企業に投資を行います。
長期	医療の技術革新	13.3%	免疫療法、遺伝子療法など革新的な医療技術や新薬を開発中の企業に着目します。
	未来の自動車への期待	4.5%	技術革新が著しい自動車関連企業に注目します。特にドライバーの安全運転支援、電気自動車、自動運転技術等を提供する企業に着目します。

（注）投資テーマはTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるもので、比率は対組入株式等評価額比です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

参考指数との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はラッセル3000インデックス（配当込み、円ベース）です。

当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+0.2%となり、参考指数騰落率（+1.7%）を下回りました。これは、一般消費財・サービスセクターでの銘柄選択等がマイナス寄与したことなどによるものです。

（注1）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注2）参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第13期 2019年2月13日~2019年5月13日	第14期 2019年5月14日~2019年8月13日
当期分配金（税引前）	-	-
対基準価額比率	-	-
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	1,000円	1,000円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド

米中貿易協議は難航しており、トランプ米大統領がさらなる追加関税を課す意向を示したことで懸念が再び高まっています。また、ブレグジット（イギリスの欧州連合（EU）離脱）問題やイタリアの財政問題など欧州の政治状況は予断を許さず、イランを巡る中東情勢の緊迫化、世界的に景気の減速が顕著となっていることなどから、神経質な展開はしばらく続く予想されます。

一方、米国を中心とした良好な経済のファンダメンタルズ（基礎的条件）と堅調な企業業績は変わっていないと判断しており、現時点では中国の経済対策や米国などの財政拡張が寄与する下で景気は拡大基調が続く見通しであることなどから、景気の大きな転換点とは考えていません。また、米国経済の現状はインフレ動向が良好な水準で落ち着いており、金融政策が緩和姿勢であることは世界の株式市場を支える重要な要素になっていると判断しています。金融市場に下押し圧力がかかる可能性やボラティリティ（価格変動性）の拡大に引き続き注意が必要と考えていますが、基本シナリオではいずれも大きな混乱となるような事態にはならず、経済への影響を抑えるべく徐々に収束を図っていくと見込んでいます。

このような環境下、当ファンドでは株価成長が期待できる魅力的な投資テーマの選定を行います。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第14期末 2019年8月13日
TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド	98.7%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

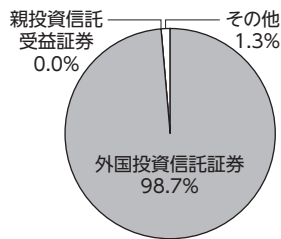
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

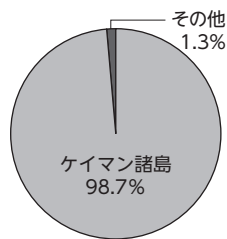
項目	第13期末 2019年5月13日	第14期末 2019年8月13日
純資産総額	583,232,655円	511,156,026円
受益権総口数	556,286,028口	514,744,284口
1万口当たり基準価額	10,484円	9,930円

(注) 当作成期間（第13期～第14期）中における追加設定元本額は101,647,287円、同解約元本額は136,450,993円です。

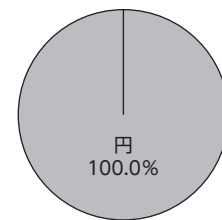
資産別配分



国別配分



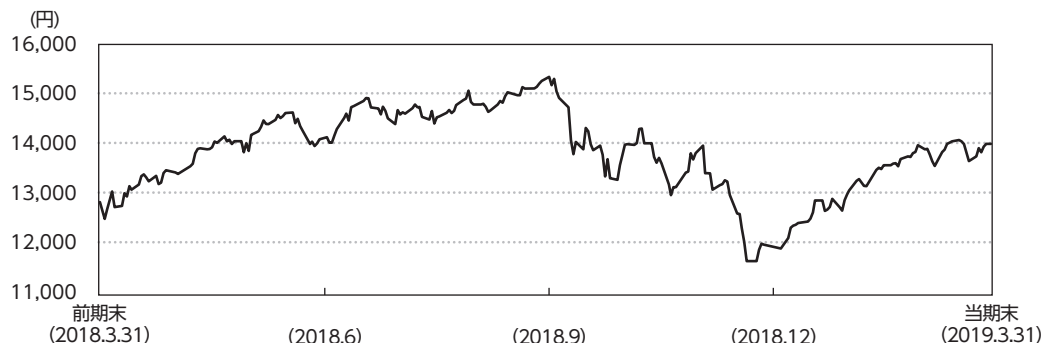
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2019年8月13日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンドの概要

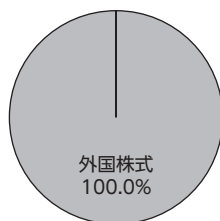
■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



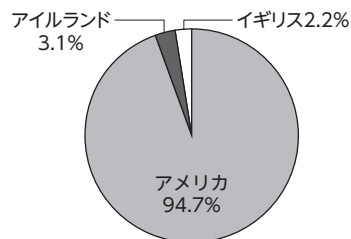
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
salesforce.com, inc.	米ドル	4.4%
Union Pacific Corporation	米ドル	3.2
CSX Corporation	米ドル	3.2
Norfolk Southern Corporation	米ドル	3.1
Kansas City Southern	米ドル	3.1
Alphabet Inc. Class C	米ドル	2.9
Microsoft Corporation	米ドル	2.8
U.S. Bancorp	米ドル	2.7
Facebook, Inc. Class A	米ドル	2.5
Prologis, Inc.	米ドル	2.4
組入銘柄数		50

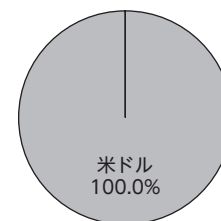
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

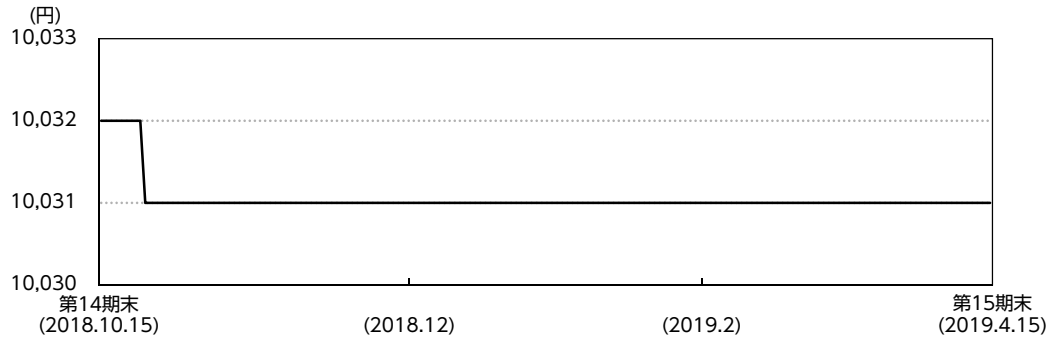
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2019年3月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

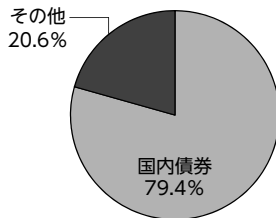
銘柄名	通貨	比率
第674回 東京都公募公債	円	19.9%
第328回 大阪府公募公債	円	19.9
第10回2号 宮城県公募公債(5年)	円	19.8
平成26年度第1回 福岡市公募公債(5年)	円	19.8
組入銘柄数		4

■ 1万口当たりの費用明細

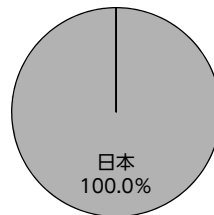
2018.10.16～2019.4.15

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

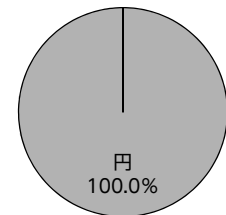
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



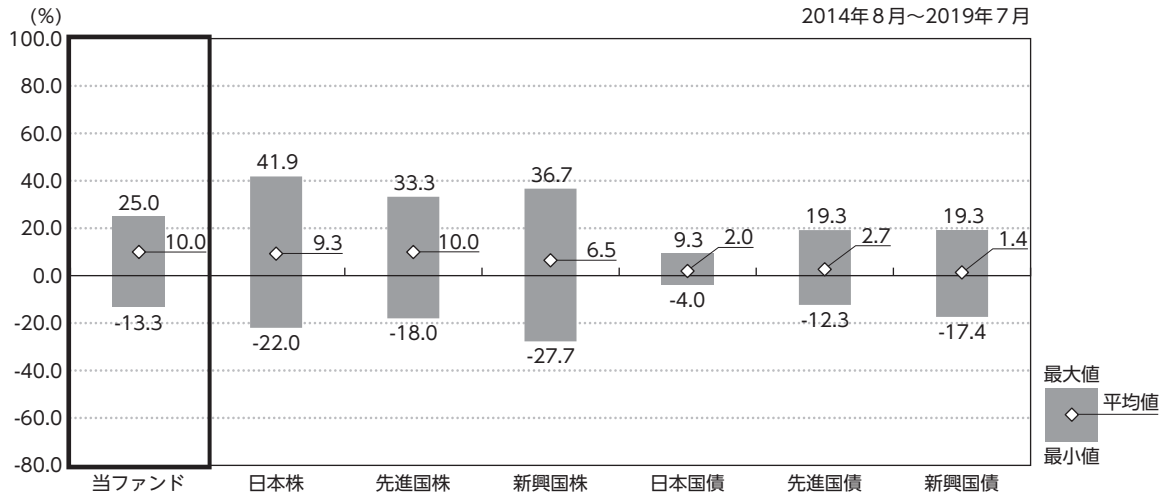
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2019年4月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみ記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ ラッセル3000インデックス（配当込み、円ベース）
ラッセル・インデックスは、ラッセル・インベストメント・グループが公表している指数で、その商標および知的財産権はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。「ラッセル」はラッセル・インベストメント・グループおよびその子会社の総称です。ラッセルはラッセル・インデックスの利用から生じる事業活動・サービスについて一切の責任を負いません。またこれらの情報は信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性を保証するものではありません。

■ 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびT O P I X（東証株価指数）の商標または標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■自社の実質保有比率

2019年7月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.0%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	2016年2月26日～2021年2月12日		
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
主要運用対象	ニッセイ米国株 テーマローテーション ファンド(3ヵ月決算型)	「TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド」 および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	
	TCWファンズⅡ－TCW テーマローテーション 株 式 フ ァ ン ド	米国の金融商品取引所に上場している株式	
	ニッセイマネーマーケット マザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。		
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。		